

社会貢献活動

豊中市「サウンドスクール」事業 〈音楽があふれる学校づくりのために〉

【趣旨】

音楽教育は、表現及び鑑賞の活動をとおして、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養うことを目標としている。

本事業をとおして、子どもたちが「音楽のすばらしさ」に触れる機会を充実させるとともに、情操教育の一環として、豊かな人間性を育むことを目的に、音楽文化の醸成による「音楽があふれる学校づくり」をすすめる。

【事業概要】

小・中学校

● 授業等支援活動

大阪音楽大学の学生や教員、卒業生などを小・中学校に派遣し、出張演奏の開催や授業支援、クラブ活動支援を行う。

● 伝統音楽の普及

集団演奏が可能な台数の箏をセンター校に配置し、中学校学習指導要領音楽科に示されている和楽器の表現活動の指導支援を行う。

こども園

● 生きた演奏活動支援

授業等支援活動と同じく、大阪音楽大学の学生や教員・卒業生などを派遣し、出張演奏を開催する。

【変遷】

小・中学校支援は2006年9月に豊中市教育委員会と大阪音楽大学で連携協力に関する覚え書きを交わし、同年10月より両者の共同事業としてスタート。これまでに訪れた学校は延べ510校以上、実施回数約790回。

こども園支援は2008年4月より豊中市こども未来部と協同し、26あるこども園に対して2年をかけて実施。これまでに約110回の公演を実施した。※現在、25園となっている。(2021年度より)

【活動成果】

● 出張演奏会

文化庁による「文化芸術による子供育成推進事業」等の芸術鑑賞会事業とは大きく異なる形態の演奏会を展開。

● 授業等への支援

本物の楽器を間近で見たり、その生の音にふれることができる。

独唱曲や合唱曲の指導においても、CD 等の音源ではなく生の声を聴き、目の前で実際に専門的な発声を体感できる。

● クラブ活動支援

20 種類近い楽器で編成されている吹奏楽で、個々の楽器の専門的な正しい奏法を学ぶことができる。吹奏楽の合奏指導支援により、合奏力、表現力の向上が図れる。